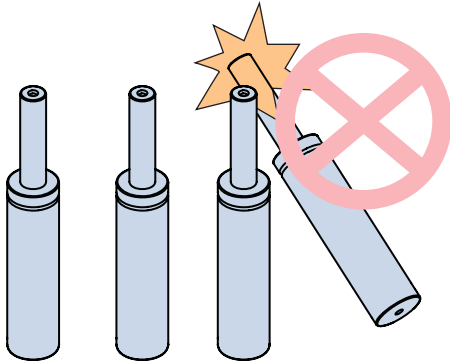


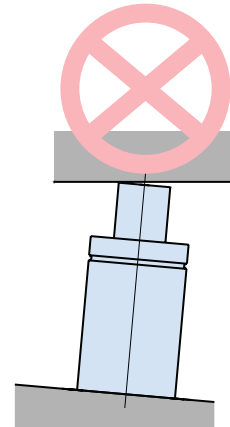
保管・運搬時の取扱い

- 高温・多湿な所や直射日光の当たる所、埃の多い所での保管は避けてください。
- 保管や運搬の際、ガスプリングが互いにぶつからないよう注意してください。特にピストンロッドについた傷は、ガスプリングの寿命を著しく短くしますので取扱いには充分注意してください。

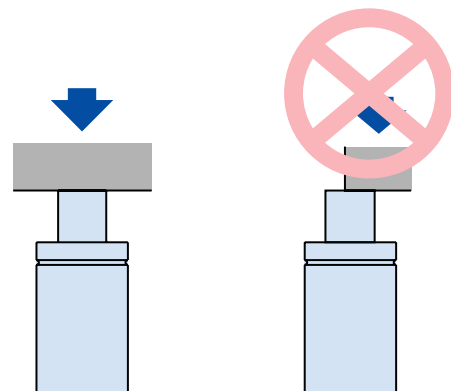


使用時の取扱い

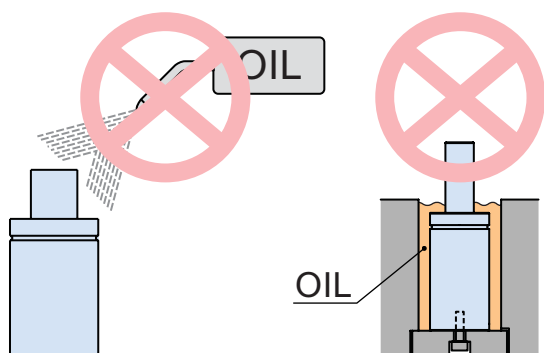
- ガスプリングの分解・改造は行なわないでください。高圧ガスが封入されており、不用意に分解すると部品が飛び出す恐れがあり大変危険です。
- ガスプリングに追加工は一切行なわないでください。
- ガスプリングの溶断・溶接は行なわないでください。また、火中に投入しないでください。
- 高温の環境では使用しないでください。使用最高周囲温度は70℃です。詳細は取扱説明書を参照してください。
- オーバストロークしないように規定のストローク範囲内でご使用ください。オーバストロークすると、ピストンロッドおよびシリンダが変形し、ガス漏れの原因になる恐れがあります。
- ピストンロッドに偏芯荷重がかからないように使用してください。偏芯荷重はガスプリングの寿命を著しく低下させます。特に横向きで使用する場合、ピストンロッドの自重で傾きやすくなるため、取付けには充分注意してください。



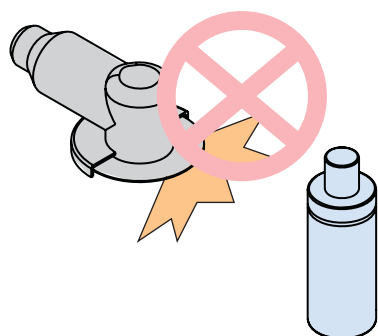
- ピストンロッドの全面で均等に荷重を受けられるように、クッションピンや当て板等の調整を行なってください。



- ピストンロッドが急激に開放されるような使い方は絶対にしないでください。ガススプリングを破損させる恐れがあり大変危険です。特にロックアウト装置などの動力源には使用しないでください。
- ガススプリングに絞り油等がかからないように設置して下さい。油等がかかった状態で使用すると、ストローク中に油膜としてシリンダ内に浸入し、溜まっていくと異常高圧が発生し、ガススプリングを破損させる恐れがあります。特に塩素系・水溶性の油は、シール性能を低下させ、ガススプリングの寿命を短くしますので、絶対にかけないでください。



- ガススプリングの付近で、グラインダ作業・溶接等を行わないでください。止むを得ず行なう場合には、ガススプリングに、ウェス・カバー等をかぶせるなどして、切粉・溶接スパッタ等がガススプリングに付着しないようにしてください。特にピストンロッドへの異物の付着や傷つきはガス漏れの原因となります。



- ガススプリングの取付けは、底面のボルト穴またはフランジを使ってボルトでしっかりと固定してください。

ガスの充填・排出時の取扱い

- ガススプリングに荷重をかけたままで、内部ガスの充填を行わないでください。
- 充填ガスは必ずチッ素ガス(N₂)をご使用ください。可燃性・爆発性のガスや揮発性の液体は絶対に充填しないでください。爆発事故の原因となり非常に危険です。



- model DNMは構造上、ガスの充填はできますが、ガスを排出して圧力調整することができません。必ず使用前に、初期充填ガス圧を確認してください。(初期充填ガス圧力範囲3.4MPa~13.7MPa)
- 廃棄する場合には、φ2.5キリのドリルでガススプリング底面のM6タップ底面に穴をあけ、必ず内部のチッ素ガスを完全に排出してください。また、ガス排出作業を行う時は、危険防止のために保護メガネを着用してください。